

クラウド時代を生き抜くためのSSO&amp;ID管理セミナー

## グループ・グローバル企業での活用が進む オープンソース

主催：野村総合研究所 2011年2月23日

野村総合研究所（NRI）は、オープンソースを活用したソリューション（課題解決策）や、事例を紹介するセミナーを定期的に開催している。今回は、「オープンソースを活用した情報共有」「オープンソースを活用したシングルサインオン、およびID管理」をテーマに、NRIオープンソースソリューション推進室グループマネージャーの寺田雄一が講演を行った。

講演は、まずオープンソースの動向について紹介した。オープンソースのOSとしてはLinux（リナックス）が最も有名であるが、近年はWebアプリケーションサーバーやデータベースなどのミドルウェア層でもオープンソースが普及している現状を説明した。また、業務システムでの利用が進んでいること、およびユーザー企業の満足度が高いことなどについても触れた。

次に、NRIが提供するオープンソース・ワンストップサービス「OpenStandia（オープンスターディア）」の概要を説明した。OpenStandiaは、約50種類のオープンソースをワンストップでサポートしており、長期間にわたる保守サポートや、独自パッチ（修正プログラム）の開発・提供など、エンタープライズ（企業）向けのサービスを提供している。さらに、大手金融機関、大手製造業、通信会社、電力会社などにおけるオープンソース活用事例を報告した。

講演の後半では、初めに「グループ企業」や「グローバル企業」といったユーザー数が多い情報システムに対するニーズや課題について述べた。特に、競争力の強化、内部統制の強化といった目的で、グ

ループやグローバル規模での「情報共有」「シングルサインオン」「ID管理」などの必要性が高まっていること、しかしユーザー数が多い場合、高額なライセンス費用が問題になること、さらにユーザー企業で「SalesforceCRM（セールスフォースCRM）」や「GoogleApps（グーグルアプス）」などのクラウドサービスの利用が進むなかで、社内システムとクラウドサービスとの連携のニーズが多いことも明らかにした。

続いて、オープンソースの活用によってライセンス費用が低減できること、および大手製造業を中心とした実際の成功事例を紹介した。具体的には、大手製造業による、①1万人規模の情報共有基盤の構築事例、②SalesforceCRMやGoogleAppsなどクラウドサービスと自社認証基盤との統合事例——などである。

最後に、2010年10月よりサービス提供を開始した、オープンソースの統合ビジネスインテリジェンス（BI）ソフトウェアである「JasperSoft（ジャスパソフト）」の紹介と、各種ソリューションをクラウドサービスとして提供する「OpenStandia onクラウド」を紹介して講演は終了した。

NRIでは、月に1、2回のペースでオープンソースに関するこのようなセミナーを開催している。日程などの詳細については、OpenStandiaのWebサイト（<http://openstandia.jp>）を参照いただきたい。

.....  
本セミナーについてのお問い合わせは下記へ

<http://openstandia.jp/>

電子メール：[osscc@nri.co.jp](mailto:osscc@nri.co.jp)